

## 第67回:ヤキトリ屋でタバコを吸って何が悪い

客歳十月、思うことあってタバコを止めた。いまさら羅卒に補導され、高校から停学処分を喰うこともないだろうから白状するが、大学受験時代はハイライトをくゆらせながら山貞の「新々英文解釈研究」をひもとき、「彼は昔の彼ならず = He is not what he used to be」のたぐいを日々暗記していた記憶があるので、喫煙歴は古い。その筋金入りのヘビースモーカーがなぜ禁煙したの？ いつまでもつのやら？ 友人知人の多くが面白がって聞きに来るのが癪にさわる。ぶしつけな質問に答弁する義務もないので「一箱300円のタバコが100円も値上げされ、買う金がなくなった。なにせ貧乏だからね」と答えることにしている。この韜晦の術を真に受けて「私のタバコでよければどうぞ」と差しだすやつはホントに殴りたくなる。

禁煙に踏み切った理由は、いま世界中に蔓延しているスモーカー狩り、つまり愛煙家に対するヒステリックな攻撃に嫌気がさしたからである。何も高級フランス料理屋や寿司屋のつけ台でタバコを吸わせると言うつもりはない。料理と飲酒には当然エチケットとマナーがあり、フランス料理におけるマナーとは相手に迷惑をかけないことであり、中華料理のルールとはみんなで楽しく食事をするのである。そんなことは人に言われなくても分かっているし、これまでマナーは守ってきたつもりである。

少し前のことだがグルメ雑誌の特集記事を読み、安くて美味しいと評判のヤキトリ屋に行ったことがある。カウンター中心の薄汚い店だが、鳥皮に醤油が絡まり焦げる独特の匂いが、もうもうとした煤煙に包まれて店外に溢れ出している。いかにも旨そうだ。運よく空席が見えたので店内に入ると、その煙たるや尋常ではない。まるでパニック映画「タワーリングインフェルノ」の大火シーンである。偶々その日に限って、ダンヒルのスーツを着ており、ヤキトリの臭いが移るといやだなと思いつつも、わざわざ八丁堀からここまでやって来た手前、いまさら引き返せるかと腰を据えてしまった。ビールを頼み、さて何から焼いてもらおうか、砂肝かレバーか、それともダイエットの都合でササミにするかなど考えながら、マールポロを啜えジッポーをカシャと鳴らした瞬間、焼き台のオヤジが目ざとく見つけ、曰く「うちは禁煙です」冗談だろ！ 香りか異臭か知らないが、これだけ大量のケムリをまき散らしながらタバコの煙だけは駄目だと。このオヤジどんな神経をしているのだろうか？ 面白くないので早々に切り上げ、別の店に河岸を変え飲み直したが、帰宅して家人に服が臭いと言われ、ダンヒルのスーツをクリーニングに出す羽目になった。あんな店、二度と行くかと思う。

国連やFAOの統計によると世界最大のタバコ生産国は中国で、30%を超えるシェアを誇っているという。たしかに中国において庶民の生活とタバコは切っても切れない関係にあり、たとえば引越し作業の労働者への謝礼といえばタバコしかない。人にお礼をしたいが、お金を渡しにくい状況ではタバコがその代替品となる。宴会マナーで隣席の人の持ち物で勝手に取って差支えないのはタバコだけだ。共産党が国民党に追われ、アイヤー、アイゴー！などと叫びながら、必死に逃げ回っていた長征時代の写真を見ると、党员たちはみな乞食のようななりだが、どこで調達したのかタバコだけはしっかり啜っている。あの頃の党指導者のなかで、タバコを吸わなかった人は少ない。しかし煙草を吸わないからといって長生きできたとは限らない。この通り歴史が証明している。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

酒は飲むが、女性関係は清潔で、タバコも吸わなかった周恩来は77歳で人生を終えた。(1898 - 1976)

酒は飲めないが、精力絶倫、かつ愛煙家の毛沢東は82歳まで生きた。(1893 - 1976)

女遊びはしないが、酒を愛し、ヘビースモーカーだった鄧小平は享年92歳だった。(1904 - 1997)

飲む・打つ・買うに加え、アヘンもタバコも吸った張学良は100歳で天寿を全うした。(1901 - 2001)

愛煙家天国だった中国も、最近タバコに厳しい。公共の乗り物は、飛行機、列車、バス、タクシー等全て禁煙である。駅舎、市役所等の公共の場所も禁煙だ。飛行場や駅では喫煙者から罰金を徴収する担当官が目を見ている。もう10年近く前のことだが、上海空港の出口で迎えの車を待ちながら一服していると婆さんがやってきて罰金10元払えという。手には領収書の束まで持っている。冗談で、「20元払うからもう一本吸わせてくれ」と言ったら、ホントに許してくれ20元の領収書をもらったことがある。この領収書をどうしようか悩んだが、会社の経費で落としたりエライことになるので記念品として日本に持ち帰った。

江沢民を始めとする第3世代から、いまの胡錦濤・温家宝たち第4世代、更には次期第5世代に至るまで、近年中国の指導者のなかに愛煙家はいない。隠れてこっそり吸う人もいるだろうが、政治局常務委員クラスがタバコを吸う現場や写真は見たことがない。いまの指導者たちはタバコを吸わないが故に愛煙家にとって無慈悲な政策が出せるのである。タバコがそんなに体に悪ければ中国全土に禁煙令を出せばいい。独裁国家だからいとも簡単に下知できるはずだが、そうもいかない事情があるようだ。中国の人口の7割近くを占める農村部においてタバコは貧しい農民の数少ない楽しみなのである。日本でタバコの価格は、一部に例外はあるが、大半が一箱410円から440円の範囲内に収まっている。一方中国は貧富の格差に応じて価格もピンからキリまでである。例えば上海で売られている日本のセブンスターは13元(1元=12円)程度だが、「大前門」という大衆タバコは2元、一方高級幹部が好む「中華」は80元、更にその上に150元とか、200元というタバコまで存在するのである。「中華」を1カートン(10箱)も買えば、貧しい労働者の月給は吹っ飛んでしまうだろう。こんな超高級タバコを誰が吸うのかといえば、富裕層がステータスシンボルとして好むだけでなく、一種の賄賂として流通している側面もあるようだ。経済大国の中国は超一流の汚職大国でもあり、その摘発と処罰は近年ますます厳しくなっているが「上に政策あれば、下に対策あり」という通り、これまで社会通念としてプレゼントとして受け取っても罰は当たらないはずであったタバコ、お茶、酒の領域で超高級ブランドが大流行しているのである。中国経済の奥は深い。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年1月5日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本<sup>の</sup>常識は中国<sup>の</sup>非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合は、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

